

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
事務局 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796
編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
HomePage担当 〒577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和6年1月(2024年)

No.697

新しい年を迎え・ごあいさつ

この4月に700号を迎える会報

—全国—の歴史を築いてきた実績に誇りを持つ—

会長 合原一夫

大阪ムービーサークルの機関紙である「OMCニュース」が、この4月で700号を迎えます。1年12回発行し続けてきたとして実に58年余りを継続してきたこととなります。これは全国的に見ても一番古い歴史だと思います。この間、先々代の川畑健次会長、先代の小倉宝蔵会長、そして私の時代へと変わってきました。8ミリフィルム時代から全国コンの受賞者がひしめいていました。レベルの高いクラブとして関西の多くのクラブから一目おかれていました。年一回の公開映写会は秋頃金曜日の夜、朝日生命ホールが定席でした。金曜日の夜にしたのは、勤め人が多かったので、土日の休日わざわざ大阪市内へ出かけるよりも、勤めの帰りに翌日が休日の金曜の夜になった次第で、定員460名のホールで立ち見席が出来るほどの盛会ぶりでした。

会報は第1号から、退会された進藤氏等がデータ化され、すべての号が記録されていますので、いつでも見ることが出来、OMCの貴重な歴史です。私は紙の会報をずっと綴っていて、もう3冊目が満杯です。時々読み返して当時を思い出しています。

さて、何でもそうですが、継続していく、という事は大変さと難しさを痛感しています。将来は恐らく会報のあり方も変わっていくでしょう。今も紙での配信は一部の人だけで、大半はメールで配信し、郵送料を節約しています。さらに進んで今後、どうなるか見通しが付きかねますが、何らかの形で【記録】は残していきたいなあと考えます。さて次の800号は8年以上先の話になりますが、果たして私が観ることが出来ますか……。まあ、とにかく、今年も元気で明るく、楽しくやっていきましょう。乾杯！

1月例会のお知らせ

- 第2例会：1月18日(第3木曜日) 12時30分開場 13時総会・例会 17時新年宴会
- 通常例会：1月27日(第4土曜日) 担当世話役さんは早めに、13時30例会

昨年一年間の例会記録です。

■ 最多出席者（敬称略）

・ 16 回全出席者

岩井、江村、岡本、合原、高瀬、中川、宮崎、の 7 氏

・ 14 回出席者

上総、山本の 2 氏

■ 最多出品者

・ 年間 18 本出品者

江村、合原、高瀬の 3 氏

・ 年間 15 本出品者

中川の 1 氏

・ 年間 14 本出品者

山本の 1 氏

以上の方に 1 月第 2 例会 18 日の総会の席上で記念品を贈呈いたします。

<会長コメント>

例会を円滑に運営していくためには、まず、担当の世話役さんが早めに来て会場の設営、準備を整える事、そして出来るだけ多くの会員さんが集まってくる事が例会を盛り上げる第一歩です。例会日を最優先して自分のスケジュールを組み、例会に多く出席して頂いた「最多出席者」の皆様には、まずは感謝です。

次に、趣味の映像を楽しむための会ですから、上映できる作品がないと例会が成り立ちません。そこで毎回 8～10 本の作品が持ち寄られ、午後のひと時を楽しんでおられるのはうれしい事です。もっとも新作ばかりではなく、旧作を掘り起こし、手直ししたりして出品される方も多いが、何はともあれ元気で映像を楽しんでおられる姿は、健康の証でもあります。

過去 5 年間の例会記録

■ 通常例会の記録

年度	会員数 人	出席者 人/回	出品数 本/回	総本数 本/年
R 1	29	14.6	9.7	116
R 2	27	13.1	10.2	92
R 3	23	11.3	8.4	84
R 4	24	12.8	9.2	110
R 5	23	13.9	9.3	111

注) R 2 年度コロナで休会 3 回、R 3 年度 2 回休会

■ 通常例会+第 2 例会

年度	会員数 人	出席者 人/回	出品数 本/回	総本数 本/年
R 1	29	14.4	10.0	180
R 2	27	12.8	10.4	134※
R 3	23	12.0	9.8	138※
R 4	24	12.6	9.8	175
R 5	23	13.9	9.3	155

※：コロナで休会があった為減少

例会記録を見て感じる事

会長 合原一夫

令和 5 年度の通常例会記録を見てみると前年度より会員数が一人減った割には、例会の出席者数、出品数、総年間作品数も若干増えていることは、活動もよくやってきた事の証だと思います。

第 2 例会は年 6 回から 4 回に減らし、更に今年は原則無くす方針ですので、次年度からは第 2 例会の記録は載せません。

第 2 例会を廃止するのは、通常例会が夜の例会だったので、昼間しか出て来れない会員様の為、昼間開催の第 2 例会を設けていたのであり、通常例会が昼間に変更した為経費削減の意味もあって廃止するものである。

■ 第 2 例会の記録

年度	例会数 回	出席者 人/回	出品数 本/回	総本数 本/年
R 1	6	14.0	10.7	64
R 2	5	12.4	10.6	53
R 3	5	12.4	10.8	54
R 4	6	12.3	10.8	65
R 5	4	14.0	11.0	44

令和2年度、3年度はコロナ禍の為に休会が何度かあったのが影響して、数値が下がっているものです。
令和4年度からは平常に戻っていますが、どうか会員数減や出席者数減、出品本数減といったマイナス傾向になることは避けたいものです

令和6年度行事の計画

新しい年が始まりました。今年も昨年以上にOMCをより楽しく充実した年にしたいものです。

1) OMCニュースの発行

今年1月号の発行番号が697号ですから700号記念のOMCニュースは4月になりますが、何か特集号を考えたいと思います。会報が700号という途方もない号数は、我が大阪ムービーサークル以外全国どこにもない事です。よく続いてきたと思います。

2) 例会の開催

全員参加型の運営方針で、ほとんどの会員さんに何らかの役割を担っていただいて、例会を円滑に運営してまいります。役割分担表を作りそれに沿って担当者の役割を決めます。出品者はコメントを書いて受付へ渡してください。コメントは書記役がメールに打ち込み書記のコメントと共に公報へ送ります。

3) 広報メール・ホームページを充実

例会ニュース等を載せる外、会員向けに期間限定で作品を公開しています。

4) 公開映写会の開催

第64回OMC映像フェスティバルは、10月初旬の日程を目標に準備します。会場は東大阪布施駅前の市民プラザ多目的ホールを予定しています。

5) 懐かしの映像鑑賞会

大阪アマ連主催（と言ってもほとんどがOMC中心）の懐かしの映像鑑賞会は今年6・7月頃、昨年と同じ会場（布施駅前・市民プラザ多目的ホール）で予定しています

6) 課題コンテスト

1月に発表される宮中歌会始めの儀で、来年の「お題」が発表されますが、その「お題」についての映像コンテストを実施。5月例会で公開コンテストを行います。

7) 撮影会の実施

5月3日（金）4日（土）滋賀県高島市を撮影地と決め、岡本副会長を中心に企画を練っておられます。乞うご期待

8) 各種表彰

年度賞は昨年度から原則見合わせております。最多出席者賞、最多出品賞は総会の席で粗品と共に表彰いたします。

■ 編集の豆知識「緩急自在」

作品全体の構成を考える時、緩急という言葉を考えてみて下さい。つまり全体が常に緊張しているのではなく「緊張」と「弛緩・ホットする息抜き部分」が、交互に出来るように画面の構成をした方が良いでしょう。「動」と「静」と言ってもよいでしょう。これにより作品にメリハリがついてくると共に、本来の映像で表現しようとするのが、より明確になってきます。この場合の画面構成は、ブロック（シークエンス）毎の緩急と考えた方が分かり易いでしょう。

■ 編集の豆知識「シネポエム」

コンテストの審査をしていると、シネポエム（今はビデオポエムか？）に分類される作品を時々見かけま

す。美しい画面が次から次へと出てきて、それはきれいな画面ですが、これほど構成の難しい作品はないと思います。多くの作品はメリハリも無く、緊張感もなく、唯きれい・キレイで終わってしまうのがほとんどです。

ポエムに挑戦するなら、長くして10分、まあ7～8分ぐらいの短編で、色彩の変化、ロングとアップの画面変化、動的な被写体（水の流れ、風になびく木の葉の揺れ等）と静的な被写体（雲、草花等）明るい被写体、黒っぽいものなど対照的な被写体をバランスよくつなげて変化を付けることが大切でしょう。

また天候の移り変わりや季節の変化などで時間経過などを盛り込んでいくと、ポエムとはいえ、ドラマチックな味付けが出来るのではないのでしょうか。

その点、「関 剛作品」の中には、参考になる作品がいっぱいあります。

■ OMC 新年会のお知らせ

- ・ 1月第2例会（令和6年1月18日木曜日）総会&例会の後、17時より開催します。会費5,000円
- ・ 申込締め切り、1月10日までに事務局まで申し込んでください。

■ 令和6年度 OMC 撮影会

- ・ 実施日：令和6年5月3日（金）・4日（土） 会費15,000円
- ・ 参加申し込み、1月の総会時に申し込んでください。

令和5年12月例会

本年最後の例会は12月23日土曜日13時30分より開催。この日は午前中、同じ例会場で幹事会（今回から世話役会と従来の幹事会を合わせて、全体を幹事会とした。）を設けて来季の役割分担等が決められた。例会日は今年一番の冷え込みだったが会場は暖房が効いていて快適だった。

- 運営担当：司会 岡本、書記 高瀬、YouTube 関係 高瀬、映写 坪井、山本、メモリー記録 中川、受付・照明 宮崎、大久保の各氏
- 出席者：岩井、江村、大久保、岡本、合原、高瀬、高田、坪井、鉄具、中川、道下、宮崎、山本の13氏

上映作品（今月の書記は高瀬）

1. 冬祭り・湯立神事 BD
中川良三 11分

（作者コメント）

河内長野の三日市地区の烏帽子形八幡神社の冬祭り・湯立神事を記録として撮っています。この神事は一年間の穢れを祓い清めるものだそうです。50分の神事ですが、湯立神事のみを編集しました。

（書記コメント）

いつもの360°カメラで地元、烏帽子形八幡神社の湯立神事を撮られている。神事の間、参拝者はおそらく神主の後ろ姿しか見えず、何をしているか分からないと思うので、映像を見れば、神事の様子を詳しく知ることが出来、記録としての価値はあると思われます。ただ作品とみれば、湯立て以外、全体に動きがほとんどなく、それを固定したカメラで撮られているので、単調な感じは否めません。360°カメラは様々な映像の可能性があるので、さらにそれにふさわしい撮影対象を見つけて、映像化されることを期待します。



2. 特別演舞2022よさこい BD

江村一郎 7分40秒

(作者コメント)

2022年は通常の「第69回よさこい祭り」としては行われず「2022よさこい鳴子踊り特別演舞」として開催されました。3年ぶりのよさこいですが、参加チーム数および参加者数も大幅に減りました。各会場では感染予防のため観客には検温が必要でした。やはりいつものよさこいとは確かに違っていた。

(書記コメント)

前半はコロナ禍に苛まれた「よさこい」が3年ぶりにようやく戻りつつある喜びの表情がマスク姿で戸惑いながらも描かれ、後半5分くらいからは、本来の踊りが作者ならではの映像表現で描写されている。独特のアングル、カメラワーク、カット選び、編集などに迫力あるいつもの姿が戻ってきたように思われる。ただし作者コメントを読むと、2022年はコロナ禍の微妙な段階で、本来のよさこいには程遠く、「いつものよさこいとは確かにちがう」とされており、後半の映像から感じた観る側の思いと、よさこいを知り尽くした作者にとっては、これでもまだ物足りないという思いの違いを感じました。



3. 3兄弟の訪日 BD

山本正夢 10分30秒

(作者コメント)

久しぶりに子供たちが日本で偶然に集いました。彼らの滞在中に撮影したホームビデオを短く編集しました。

(書記コメント)

「久しぶりに子供たちが揃ってのホームビデオ」と作者コメントに書かれているが、一般家庭の子供たちの帰省風景とはケタ違いのスケール感。子供さんはスペイン、デンマーク、ドイツなどに住まれ、全員揃っての食事では日本語、英語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語が飛び交い料理も多彩、そうした家族の姿をさりげなくビデオに収められている。さらにそれぞれの家族との旅行も1カ月の間に京都、沖縄、富士山、東京、ディズニーランド、宮島、松本、奈良などを観光され、一か所でも一つの作品に出来そうな映像を惜しげもなく短編にまとめられている。



4. 全国タグラグビー選手権大会

奈良県予選 BD

高瀬辰雄 9分

(作者コメント)

タグラグビーは小学校の子供たちがするラグビーです。大人のラグビーとはルールが異なります。その全国大会を目指して12月3日、天理市のラグビー場で奈良県予選が行われました。孫が試合に出るという事で、応援がてら見に行き、撮影しました。



5. 紀伊万葉二題 BD

鉄具嘉夫 12分56秒

(作者コメント)

海南市の有間皇子1350年祭と有間皇子の悲劇の歌二首、和歌の浦の山部赤人の歌を収録しました。聖武天皇の若い頃、和歌の浦に行幸してから和歌山の万葉の歌が盛んになりました。

(書記コメント)



紀伊万葉の旅と題して、2ヶ所巡られた記録をまとめられた平成20年（2008年）制作の作品。最初は有間皇子ゆかりの藤白神社や日高郡みなべ町などで、皇子が詠んだ歌を、続いて和歌の浦、雑賀崎、片男波海岸などを巡り、山部赤人の歌を紹介されている。それぞれの風景と万葉歌の組み合わせなど苦労してまとめられた様子が窺える。ただ有間皇子の処刑の話がテロップや女性の語り、説明板などで紹介され、内容が重なっているような箇所が見受けられます。

6. ロングステイクラブ紹介

「シニアライフの創造」 BD
高田幸夫 10分

（作者コメント）

ロングステイクラブの紹介ビデオを作りました。全国組織のクラブです。ホームページに掲載して組織のPRと会員の勧誘をすすめるものです。

（書記コメント）

作者が所属されているロングステイクラブを紹介されたビデオ。国内外長期滞在旅行好きの仲間が集うサークル、趣味の同好会などで、それぞれの夢の実現に向かって活動している、と謳っており、よくこれだけ皆さんが楽しんでおられ、参加してみたいと思える映像を集められたものである。きっと、このビデオを見て参加される方は増えるものと思われる。



7. 建立(こんりゅう) DVD
合原一夫 17分

（作者コメント）

茨木市にある弁天宗水子供養塔の前に立ち、建設当時、苦労して建設に携わった頃、即ち昭和54年当時の建設の様子を回想する。何から何まで初めての経験だった。8ミリフィルム作品、昭和54年～60年撮影。

（書記コメント）

苦労して建設に携わったと記されているように、難工事であったことが分かる水子供養塔の建設。工事に携わられての撮影で、工事の難しさを克明に描かれ、ナレーションでそれらの思いも語られており、38年前のフィルム作品だが、見応えのある力作となっています。ラスト近くの信者の方たちの祈りの姿には心を動かされる。水子供養といえば、こじんまりとして密やかな形でお参りされるイメージでしたが、こんな巨大で立派な供養塔があるのを知り、驚かされました。



8. 映像と音楽で楽しむ

HANAZONOEXPO2023 BD
道下敏行 7分35秒

（作者コメント）

2023年11月3～4日に東大阪市にある花園中央公園で開催されたHANAZONO EXPO2023を映像と音楽で楽しむ。

（書記コメント）

カメラワークや構図の取り方、アップ、ロングなどの画面サイズの組み合わせなどは申し分なく、センスの良い軽快なテンポの編集で楽しく拝見した。意図的でしょうが、犬やミャクミャク、蝶々、ステージでの演奏など同じような内容のシーンが何度か繰り返し登場する。イベントは盛り沢山ですが、もう少し的を絞ってまとめられた方がよいように思う。それと作品にはタイトル、制作者名、「終」「おわり」「END」など終りが分かる文字を入れた方がいいという指摘がありました。

